

会議記録（１）

会議名称	令和7年度第2回北本市地域公共交通会議
開会及び閉会日時	令和8年3月26日（木） 開会 午前10時00分 閉会 午前11時20分
開催場所	北本市文化センター 第3会議室
議長氏名	新井 信弘
出席委員（者）氏名	新井信弘 大山博 野口佳一 石橋泰浩 長谷川祐 鈴木貴大 島田幸夫 内田彰 磯部義雄 鈴木洋行 三ツ木正子 武石昌之 川村英輝 久保田尚
欠席委員（者）氏名	関根肇 長谷川洋司 岡野利行 根岸成子 関根治人 秋葉清 森村正寿 清水宏典 柳田謙 西野常博
説明者の職氏名	くらし安全課長 中根 武 くらし安全課主幹 利根川 賢 主任 小川 俊
事務局職員職氏名	くらし安全課長 中根 武 くらし安全課主幹 利根川 賢 主任 小川 俊 主任 小室 良子
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 副会長の指名について 4 会議の公開について 5 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 北本市地域公共交通計画の策定に向けて (2) 市内公共交通の現状について (3) デマンドバスの増車実証運行について (4) その他 6 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度第2回北本市地域公共交通会議 次第 ・ 資料1-1 地域公共交通計画について ・ 資料1-2 北本市地域公共交通会議設置要綱（改正案） ・ 資料1-3 地域公共交通計画事業スケジュール ・ 資料1-4 北本市地域公共交通計画目次（案） ・ 資料1-5 公共交通に関する市民アンケート（案） ・ 資料1-補足資料 地域公共交通計画の概要 ・ 資料2 市内公共交通の現状について ・ 資料3 北本市デマンドバス増車実証運行について ・ 資料4 北本市地域公共交通会議設置要綱

会議記録（1）

	・資料5 令和7年度北本市地域公共交通会議委員名簿
--	---------------------------

会議記録（２）

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>1 開会 会議の成立 委員24名中、14名が出席されていることから、会議が成立する。</p> <p>2 あいさつ 副市長あいさつ</p> <p>3 副会長の指名について 久保田委員を副会長とした。</p> <p>4 会議の公開について 傍聴人なし</p>
議長	<p>以下、新井会長が議長となり、議事を進行する。</p> <p>5 議題 ここから、議題に入らせていただきます。 「議題（１）北本市地域公共交通計画の策定に向けて」について、事務局より説明を求めます。</p>
事務局	<p>— 資料1をもとに説明 —</p>
議長	<p>これより質疑に入ります。 「議題（１）北本市地域公共交通計画の策定に向けて」について、ご質問はございますか。</p>
川村委員	<p>資料1－4北本市地域公共交通計画目次（案）の第2章地域及び公共交通等の現状について、今後アンケート業務等を行って、北本市の公共交通等の現状を調査すると思いますが、現在、多くの地域で公共交通の担い手不足が発生していて、公共交通の供給不足が発生しています。そのため、病院や福祉施設、工場等の送迎バス等緑ナンバー以外の車両の活用も調査していただければと思います。学校や病院等は集約している地域もあると思いますので、そこに向かってあらゆる交通モードが運行しているなか、実はもっと集約化できるということもあるかもしれません。福祉施設等の送迎バスを活用する等色々な交通モードの活用を検討して欲しいと思っております。</p>
事務局	<p>地域公共交通計画は、地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにすることが目的です。地域旅客運送サービスとは、公共交通機関で</p>

会議記録（２）

	<p>ある鉄道、路線バス、コミュニティバス、デマンドバス、タクシーに加えて、自家用有償旅客運送、福祉運送、スクールバス、商業施設の送迎サービス等も地域旅客運送サービスだと考えています。このようなことから、いただいた御意見につきましては、今後調査を進めていきたいと考えております。</p>
議長	<p>調査範囲について御意見をいただきましたので、事務局には調査範囲を広げて調査していただきたいと思います。</p>
鈴木(貴)委員	<p>地域公共交通計画の策定は、北本市における移動手段を確保しようということだと思えます。先ほど川村委員から送迎バスの活用のお話があったと思いますが、実は総論では良くても各論では上手くいかないということはよくあります。そこで私は、自らの力で移動出来る期間を延ばすことが必要だと考えております。具体的は、免許返納年齢を1歳伸ばすということをまずは頑張るべきではないかと思えます。認知能力はトレーニングで衰えを止めることができますので、そういったことを市として取り組むことによって、安全を確保した中で、免許返納を1歳伸ばすことができれば、移動手段の確保に効果的だと思います。事故を起こす高齢者の中には、最近の安全装置が付いておらず、安全装置がついた車に変えた方が良いよと言うと、あと2年くらいで車を運転しなくなるかもしれないのに替えられないと言われます。ここでこそ、市と国と民間が連携して、取り組む課題であると思えます。免許返納を1年伸ばす取り組みは既に民間事業者が始めております。今後の公共交通は、民間の公共交通事業者では全てを支えきれません。自動車の運転免許を持たない若者もおります。免許取得の推進を図る等していただいて、自ら移動の足を確保する努力をしていただきたいと思えます。何とか公共交通を支えていければと考えます。</p>
事務局	<p>視野を広げて地域公共交通計画を策定してまいりたいと考えております。</p>
議長	<p>そういうことであれば、現状と課題の整理と目次（案）の第5章・6章当たりに例えば、免許返納の延伸であるとか、安全装置の補助といったものが盛り込めるか今後検討して下さい。</p>
久保田副会長	<p>先ほどお話のあった送迎バスの活用は確かに難しくてなかなか良い例はありませんが、狭山市では、病院の送迎バスを一般開放することを始めております。困難ではありますが、出来ない事ものないので、そういった先進事例も調べていただければと思えます。</p>

会議記録（２）

議長	<p>川村委員からも御意見がありましたので、検討範囲を広げた上で、先進事例についても調査していただければと思います。</p> <p>次に移ります。資料１－２地域公共交通会議設置要綱の改正についてはご異論ございませんか。</p>
委員一同	<p>異論なし</p>
議長	<p>次に移ります。資料１－５の市民アンケート案について何かご意見はございますか。</p>
久保田副会長	<p>裏面の公共交通における財政負担は非常に重要な設問だと思いますが、これはどういった質問を想定していますか。</p>
事務局	<p>他自治体では、「財政負担を増やして公共交通を充実させるのか」「現在の財政負担で現状の公共交通を維持するのか」「受益者負担を増やして公共交通を充実させるのか又は財政負担を軽減させるのか」という質問がありますので、参考にしたいと考えます。</p>
久保田副会長	<p>その問いは非常に重要だと思います。非常に重要なので、おまけっぽく小さく問うのではなく、しっかりと聞いた方が良いと思います。</p>
鈴木(貴)委員	<p>問６のタクシーを利用しない理由は私だったら間違えなく高いからと答えます。運賃は国で決められた運賃なので、これを聞くのは愚問だと思います。</p>
事務局	<p>設問について工夫いたします。</p>
島田委員	<p>アンケートを行うと、人それぞれの意見があつて、それらの意見は集約出来ないと思います。このアンケートはやる必要があるのでしょうか。</p>
事務局	<p>地域の公共交通の指針になる計画でありますので、多くの市民の意見を取り入れたいと考えております。北本市で定める市民参画推進条例において、アンケート等を行うことが定められておりますので、市民アンケートは実施してまいりたいと考えております。</p>
議長	<p>市民参画の手続きについては条例で定められており、市民の様々な意見を</p>

会議記録（２）

	<p>反映していくことが必要でありますので、このアンケートを実施しないという事は出来ないということでございます。</p>
島田委員	<p>以前から主にデマンドバスに関する事を問うアンケートが何回か実施されていると思います。同じことを何回も聞くということではなく、先を見据えたアンケートにしていただければと思います。</p>
議長	<p>それについては、事務局は、これまでと重複しないような設問であるとか別の視点からの設問になるように工夫して下さい。</p>
鈴木(貴)委員	<p>アンケートを実施した方が良いのは当たり前だが、現実的に無理なことは質問しない方が良いと思います。問５のデマンドバスの運行区域の拡大のところで、例えば大宮まで行ってくれといわれても出来ないと思います。そうであれば、出来ない事は聞かない方が良くと思います。</p>
事務局	<p>先ほど、久保田副会長からもありましたが、例えば、利用時間や運行区域を拡大する場合には財政負担が大きくなる等の条件をこのアンケートに示すことも検討していきたいと思っております。いただいた御意見についても検討させていただきます。</p>
議長	<p>事務局には、アンケートの取り方を工夫していただければと思います。</p> <p>次の議題に移ります。</p> <p>続きまして、「議題（２）市内公共交通の現状について」事務局より説明を求めます。</p>
事務局	<p>— 資料２をもとに説明 —</p>
議長	<p>これより質疑に入ります。</p> <p>「議題（２）市内公共交通の現状について」ご質問はございますか。</p>
久保田副会長	<p>地域公共交通計画では、通常、空白地域を示すと思いますが、空白地域の設定はまだということよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>次の会議くらいにはそういった地域をお示ししたいと思います。</p>

会議記録（２）

鈴木(貴)委員	令和４年度くらいからインターネット予約が伸びてきていると思いますが、何か対策を行ったのでしょうか。
事務局	利用者の方が登録のために窓口を訪れた時に、インターネット予約についても案内しておりますので、その成果だと考えております。
議長	次の議題に移ります。 続きまして、「議題（３）デマンドバスの増車実証運行について」事務局より説明を求めます。
事務局	— 資料３をもとに説明 —
議長	これより質疑に入ります。 「議題（３）デマンドバスの増車実証運行について」ご質問はございますか。
島田委員	デマンドバスは、病院に通う方に多く利用されており、どうしても、朝早めに行きたいという方が多いので、朝の早い時間帯の予約が集中してしまいます。また、昼の時間帯に車両が減少する課題もあります。そういった課題のなかで、さらなる利用者の拡充というところで、今回の１台増車ということになったのだと思います。
久保田副会長	指標にアンケート調査による満足度とありますが、このアンケートは、議題(1)市民アンケートとは、別のアンケート調査ですか。
事務局	基準値については、令和５年度に市民を無作為に1,000人抽出して実施したアンケートによる満足度です。目標値については、今後、実証運行中にアンケートを実施して測ってまいります。
議長	全ての議題が終了したので、進行を事務局に戻します。
久保田副会長	５ 閉会